



K中通信

学校だより 11号
令和3年1月20日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます (知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます (体・開)

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>



梅一輪 一輪ほどの あたたかさ

服部 嵐雪

校長 星野 久美子

今日は大寒。1年中で最も寒さが厳しい頃です。空気中の雑菌が少ない寒の内は、発酵がゆっくり進み味に深みが出ることから、この時期に仕込んだ味噌や醤油、酒などは、「寒仕込み」と呼ばれ珍重されてきました。また、寒の内に汲む「寒の水」でついた餅を自然乾燥させ「寒餅」として保存してきました。厳しい寒さを利用してきた昔の人々の知恵に、私たちは今、恩恵を受けています。

12月にはロイノート・スクールを利用した家庭と学校とのオンラインでの接続確認にご協力をいただき、ありがとうございました。また、1月12日にお知らせしました「緊急事態宣言期間中の教育活動の取り扱い」についても、ご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。未だに新型コロナウイルス感染症の収束が見えませんが、子どもたちは感染防止に努めながら、来年度の準備に励んでいます。

今年度の修学旅行は感染症流行のため宿泊地を沖縄から東北方面に変更しましたが、令和3年度についても同様に東北方面を宿泊地とします。防災学習や持続可能な社会についてより深く学ぶために、岩手県 陸前高田市、宮城県 気仙沼市、松島町、仙台市を訪れる予定です。そのため、2年生は修学旅行の事前学習として、総合的な学習の時間で「東北ガイドブックを作ろう」という課題に取り組んでいます。東日本大震災、陸前高田、岩手・宮城の文化・歴史・人物、気仙沼、仙台、松島の6ジャンルが提示され、その中からひとり1テーマを設定し、調べ学習を行って1ページにまとめます。その成果物をクラスごとにまとめ、東北ガイドブックを作成します。

今年度の自然教室は清里で行いましたが、令和3年度については交通の利便性等を配慮し、埼玉県小鹿野町(おがのまち)に場所を変更します。小鹿野町は埼玉県の北西部に位置し、西秩父地域の中心として発展してきました。日本百名山の両神山や、日本の地質百選の「ようばけ」などに代表される自然がたくさん残っています。ここでは、小鹿野町と農家のみなさまのご協力をいただき、田植えを体験する予定です。そのため、1年生は日本の食を支える米づくりについて、現在学習を深めています。(冒頭に紹介した味噌、醤油、酒づくりにも米は欠かせませんね。)

このような環境の中で、最も我慢を強いられながらも着実に自分の夢や目標に向かって努力している3年生の姿は、1・2年生にとって最も身近な、そして頼もしいお手本でもあります。卒業前の特別時間割では3年間の学びの総括として、「持続可能な社会の構成者として自分が今、何をするのか」というテーマで1年生にプレゼンテーションを行う予定です。厳しい状況であるからこそ、この1年間で学んだことがたくさんあります。これからの社会を担っていく者としての態度を自覚し、分かりやすいように伝えていくことが、持続可能な社会の実現につながるのではないのでしょうか。

《令和3年度からの学期制について》

新学習指導要領の令和3年度からの全面実施(中学校)に伴い、令和3年度より本校は2期制に変更します。前期、後期の期間については、新年度にお知らせいたしますことをご了承ください。